

こども未来部

こども政策課

1 子育て施策の総合調整

(1) 三田市子ども審議会

ア 第1回子ども審議会（令和7年7月31日）

- ・ 三田市こども計画について
- ・ 令和6年度の取り組みについて
- ・ 教育・保育施設に係る利用定員について
- ・ その他

イ 第2回子ども審議会（令和8年1月29日）

- ・ 三田市こども計画の変更（こども誰でも通園制度関係の記載追加）について
- ・ 子どもの意見表明の機会確保試行事業の実施について
- ・ 教育・保育施設に係る利用定員について
- ・ その他

(2) 三田市総合教育会議

第1回三田市総合教育会議（令和8年2月26日）

- ・ 三田市教育委員会 業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
- ・ 学校再編に関する学校運営協議会等での説明等について
- ・ その他

2 子どもの居場所づくり（子どもの貧困対策）

三田市子どもの貧困対策推進会議

第1回三田市子どもの貧困対策推進会議（令和8年3月・書面開催）

- ・ 子どもの貧困状況に関する指標について
- ・ 令和7年度三田市子どもの貧困対策関連施策について

3 池尻児童館に関すること

主に就学前の乳幼児を対象としたイベントや居場所づくりを通して子どもたちの健全育成に必要な活動を行う。また、子ども会や母親クラブ等の地域組織活動の育成助長を図るための事業を行う。

利用回数 442 回 利用人数 3,799 人 イベント実施回数 191 回 イベント利用人数 840 人

4 子育て支援事業に関すること

(1) ブックスタートに関すること

9か月児健康診査の際に乳児とその家族に絵本を配布し、子どもの心と言葉の発達やコミュニケーション能力を育むことを支援し、本との出会いや親しむ機会、子育てに役立つ情報等の提供を行い、親子のふれあいのひとときを応援することにより、子どもがすこやかに育ち、保護者が安心して子育てができる環境づくりを推進している。 受診対象数 487 人 絵本配布数 487 冊

(2) 赤ちゃんの駅に関すること

乳幼児を抱える保護者の子育てを応援する取り組みの一環として、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換のできる公共施設や民間施設を『赤ちゃんの駅』として登録し、広く周知することで、安心して外出を楽しめる環境づくりを進めている。

民間施設 19 か所、市公共施設 26 か所、県公共施設 2 か所 合計 47 施設

5 多世代交流館

(1) 多世代交流館利用状況

ア 子育て交流ひろば

(単位：人)

1～4 半期		4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合 計
ひろば利用者	こども	3,739	3,875	2,352	2,961	12,927
	大 人	3,225	3,301	2,008	2,457	10,991
	小 計	6,964	7,176	4,360	5,418	23,918
来館者（相談・ボランティア）		361	430	337	350	1,478
子どもルーム		0	18	0	0	18
会議室（1・2）		144	199	199	203	745
和 室		216	290	145	244	895
調 理 室		52	199	66	142	459
臨時貸室A B C D			14	149	0	163
合 計		7,737	8,326	5,256	6,357	27,676

イ シニア・ユースひろば

1～4 半期		4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合 計
フリースペース	小 学 生	1,946	3,080	2,115	1,974	9,115
	中 学 生	862	1,769	1,433	1,523	5,587
	高 校 生	517	875	1,021	1,238	3,651
	そ の 他	7,414	8,406	7,522	6,659	30,001
小 計		10,739	14,130	12,091	11,394	48,354
多目的フロア	小 学 生	563	742	504	628	2,437
	中 学 生	538	678	449	591	2,256
	高 校 生	440	505	424	547	1,916
	そ の 他	441	458	381	524	1,804
小 計		1,982	2,383	1,758	2,290	8,413
臨時貸室			16	14	35	65
音楽スタジオ※		125	71	99	133	428
合 計		12,721	16,529	13,863	13,719	56,832
子育て交流ひろば、シニア・ユースひろば 総 計		20,458	24,855	19,119	20,076	84,508

※音楽スタジオの利用者は、フリースペースに含まれているため計算から除外した

(2) 多世代交流館の運営

多世代交流館は、職員とボランティアが協働してさまざまな事業を展開している。

ボランティアは「子育て交流ひろば」90人（うち高校生11人）活動延べ人数1,275人・「シニア・ユースひろば」9人（うち高校生0人）活動延べ人数104人（事業ボランティアを含む）でひろばごとに登録され、それぞれのひろばにある専門部会に加入し、お互いに調整や応援をしあい、事業を企画・運営している。

また、ボランティア同士の連携や職員との意思疎通を図るため、毎月定例会を開催。

ア 子育て交流ひろばボランティアの専門部会

(ア) 事業部会 子育て交流ひろばで実施する事業の企画や運営

a 手作り班（手作りおもちゃの製作） 回数 13回 参加者 123人

子育てについての悩みや不安を解消するために、関係機関と連携を図りながら電話や面接に

よる相談を受けている。(相談件数105件)

相談日及び時間 毎週 火～日曜日 9:30～17:30 (年末年始・祝日を除く)

(4) シニア・ユースひろばの事業

次世代を担う青少年の健全な育成を図るとともに、就学前から高齢者までの多世代・多様な人々が、気軽に利用でき、交流し、仲間づくりができることを目的に事業を実施。

ア 多世代交流促進事業

(ア) 季節イベント

a ふらっと Autumn Carnival(ゲーム、工作、食品販売など)

回数1回 参加者延べ716人

b しめ縄づくり 回数1回 参加者20人

(イ) 学び合いの場づくり

a 作品づくり(マスコット、ストラップ、人工いくら、メガネケース)

回数4回 参加者延べ50人

b クッキング 回数2回 参加者延べ22人

c YOGAストレスマネジメント

回数1回 参加者6人

(ウ) 出会いと交流の場づくり

a Cafe de ふらっと(障害者支援施設によるドリップコーヒー等の提供)

回数23回 参加者延べ319人

b ふらっと raku raku あーと(窓ガラスをキャンバスに絵を描く)

回数 4回 参加者延べ81人

c ペあちる(ひとり親世帯つながり事業)

回数15回 参加者延べ212人

d ドローン体験会 回数 1回 参加者30人

e 作品展示(切り絵、絵画) 回数 3回

(エ) 参加の機会づくり

a 卓球Day 回数74回 参加者延べ2,095人

b コミュニケーションピンポン(卓球を通じた仲間づくり)

回数13回 参加者延べ68人

c シニア卓球Day 回数44回 参加者延べ192人

d みんなピカソ(絵や装飾品の制作)

回数 5回 参加者延べ429人

e 岡山君にきいてみよっ!(日常生活相談)

回数27回 参加者延べ100人

f 関学生との学びWEEK(小学生対象のワークショップと体験活動)

回数 4回 参加者延べ65人

g みんなでゲーム 回数 4回 参加者延べ59人

h 卓球ラリー大会 回数 1回 参加者16人

i 認知症マフを学ぼう!ワークショップ

回数 1回 参加者25人

イ さんだファミリーサポートセンター

地域において子育ての応援をしてほしい人と子育ての応援をしたい人が会員となり、相互援助による育児支援活動の実施を通じて、広く子育てに関わる環境の充実を図ることを目的に実施（活動件数2,192件）

会員の種類

a 依頼会員・・・子どもを預かってほしい人、おおむね0歳から小学6年生までの子どものいる市内在住・在勤、及び宝塚市、伊丹市、川西市、猪名川町在住の人

b 協力会員・・・子どもが好きな人、自宅で子どもを預かることのできる市内在住の人

c 両方会員・・・依頼会員と協力会員をかねてできる人

（令和8年3月31日現在）

（単位：人）

依頼会員	協力会員	両方会員	合 計
634	388	65	1087

6 地域子育て支援センター事業

主に在宅で子育て中の家庭に対する育児支援を行うため、地域での拠点として、湊川短期大学内に開設。（平成25年4月に湊川短期大学附属北摂学園幼稚園内から移設）電話・来所相談、子育て応援団（活動や遊びを通じた子育て仲間づくり支援）、子育てサークル育成支援等を実施。

（令和7年度）

（単位：人）

子育て応援団	みな・とっちひろば	子育てサークル育成 サポート	イベント等	年間利用数
644	6413	242	440	7739

7 駅前子育て交流ひろば事業

子育て中の親子等が気軽に立ち寄れ、子育てについて相談及び情報提供ができる環境を整え、子育て支援活動の推進を図ることを目的として、三田駅前キッピーモール6階（まちづくり協働センター内）に開設。運営はNPO法人に委託。（利用人数5,471人）

8 ウッディ子育て交流ひろば事業

※令和5年10月まで駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろばの講座室で実施

駅前子育て交流ひろばと同様の目的で、ウッディタウン市民センターのプレイルームを活用し、週に平日3日程度開設する。運営はNPO法人等に委託。（利用人数5,080人）

9 三田市子育て支援アプリ（SUNだっこアプリ）配信事業

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化などにより、身近に子育てについて相談する相手もなく、子育てに不安や負担を感じる保護者が増加していることから、就学前児童がいる保護者を対象に、きめ細やかな情報をスマートフォンの普及を踏まえて利便性の高いアプリを通じて配信することにより、安心して子育てできる環境づくりを推進している。（配信開始：令和元年11月1日～）

配信対象者：三田市在住の就学前児童がいる保護者及び妊娠中の人

（令和8年3月31日現在登録者 2,581人）

配信内容：妊娠期から小学校入学までの月齢や年齢に応じた子育て情報

1 0 児童手当受給者の状況

(令和8年3月31日現在)

受給者数	対象児童数				
7,890	3歳未満	小学校 修了前児童	中学生	高校生年代	第3子以降
	1,004	5,886	2,419	2,588	1,816

児童手当の額(月額)

対象児童一人につき 3歳未満 15,000円

3歳以上高校生年代 10,000円

第3子以降 30,000円

※法改正により所得制限の撤廃及び支給対象・支給額等が拡充(R6.10月分～)

1 1 児童扶養手当受給者の状況

(令和8年3月31日現在)

児童扶養手当受給資格者数	
受給者数	停止者数
444	118

1 2 特別児童扶養手当受給者の状況

(令和8年3月31日現在)

特別児童扶養手当受給資格者数	
受給者数	停止者数
188	56

1 3 ひとり親家庭支援事業の状況(令和8年3月31日現在)

- (1) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業: 0件
- (2) ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業: 0件
- (3) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業: 2人(延べ24カ月)
- (4) ファミリーサポートセンターひとり親家庭利用支援事業: 4人(延べ73日)
- (5) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業: 0件
- (6) ひとり親家庭養育費確保支援事業: 9件
- (7) ひとり親世帯等大学等受験料・模擬試験受験料助成事業: 54件

1 4 物価高対応子育て応援手当の状況(令和8年3月31日現在)

・支給人数: 15,948人

こども家庭支援センター

【母子保健】

1 母子保健事業

妊娠・出産・子育ての総合相談窓口として、保健師・栄養士が常駐する「保健センター」（平成28年10月開設）、保健師・助産師が常駐する「本庁」（令和2年4月開設）で実施している。

また、同じく妊娠・出産・子育ての総合相談窓口で、子育て支援員が常駐し、子育て交流ひろばと一体的に実施する「フラワー（多世代交流館ふらっと）」（令和4年11月開設）・「ウッディ（ウッディ市民センター）」（令和5年11月開設）と連携を図り相談支援を行っている。

各拠点が特色を持ちながら、拠点間のサービスの平準化と円滑な連携のためにオンラインを活用している。

更にこども家庭センター母子保健機能としても、児童福祉機能と一体的に、妊娠・出産期から子育て期に至る各ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を目指している。

妊娠・出産・育児を通じて母性、父性を育み、乳幼児が心身ともに健やかに育つことを目的に、母子健康手帳の交付、訪問指導、乳幼児健康診査および精密健診の受診勧奨、各種教室・相談等を行った。実施にあたっては、医療機関・県健康福祉事務所・関係機関などと協力・連携し、母子保健の向上に努めた。

(1) 妊娠届出状況 ※不詳のうち1名は分娩後

妊娠届出者数	妊 娠 週 数				
	～満11週	満12～19週	満20～27週	満28週以上	不 詳
438人	420人	10人	5人	1人	2人

(2) 妊婦面談数（転入妊婦と状況把握済も含む）

482人

(3) 妊婦健康診査費助成事業

助成件数 実678件 延べ4,883件（うち償還払88件）

(4) 乳幼児健康診査実施状況

健康診査名	実施回数	対象者数	受診者数	受診率
1 か月児健診	個別	430人	428人	99.5%
4 か月児健診	年23回	448人	442人	98.7%
9 か月児健診	年22回	494人	487人	98.6%
1 歳 6 か月児健診	年24回	523人	510人	97.5%
3 歳児健診	年24回	619人	588人	95.0%
3 歳児視聴覚健診	年 2回	眼 2人 耳鼻2人	眼 2人 耳鼻2人	

令和7年10月より、令和7年4月1日以降に生まれたこどもの保護者に対し1か月児健診の助成を開始（助成券交付および償還払い）

実施状況は、参考値として令和7年度中に健診を受けたものとし、令和7年3月～令和8

年2月生まれで算出（償還払いによる助成が一定数おり、受診結果の把握に時間を要するため、4月～3月までに健診を受けた人数を記載）

428人のうち令和7年4月1日以降に生まれた児は387名

(5) 歯科健康診査

健康診査名	受 診 結 果				
	O 型	A 型	B 型	C 型	計（A+B+C型）
1 歳 6 か月児健診	507人	3人	0人	0人	3人
3 歳児健診	555人	28人	5人	0人	33人

(注) O 型 異常なし

A 型 上顎前歯部のみ又は臼歯部のみに虫歯のある者

B 型 臼歯部及び上顎前歯部に虫歯のある者

C 型 臼歯部及び上下顎前歯部すべてに虫歯のある者

(6) ことばと育児の相談会

実施回数 12回/年 相談者数 27人（延べ28人）

(7) 乳幼児健診事後指導教室

親子の健全な発育と発達を目的として、育児不安の強い親子、子どもとの関わり方がわからない親子、子どもの発達上支援が必要と思われる親子を対象に、遊びを中心とした親子教室を実施している。教室では、別の日程で個別の相談を実施し、子どもに対する保護者の理解を深め課題を解決の方向に導き、療育的な関わりが必要な子どもへは、それぞれにあった療育の場の紹介と保護者の受容をすすめるよう支援した。

ア ふれあい教室

(ア) 対象者

1 歳 6 か月児健診の結果、幼児期における発育・発達等に課題がある親と子

(イ) 内容及び実施状況

a 期間：1 クール 5 回（5 月～3 月で3 クール）

b 参加者数：21人（延べ78人）

c 内容：自由遊びや設定遊びを通じて親と子及び他児とのふれあい、遊び方を指導

イ 親子相談・発達相談

教室参加者を対象に臨床心理士や医師による個別の相談を実施

(ア) 親子相談（臨床心理士による相談）

(イ) 発達相談（医師・臨床心理士による相談） (ア)(イ)合計 年1回延べ1人

(8) 育児支援教室

ア プレ・パパママ教室

これから親となる夫婦を対象に、沐浴等の育児の指導や相談を実施。

実施回数 年9回 参加延人数 51組(102名)

イ 離乳食教室

離乳期の乳幼児を持つ保護者を対象に、栄養士による離乳食の進め方の講話、保護者による試食、質疑応答を実施。

実施回数 年4回

参加延人数 30人

ウ 子育て支援相談

子育て中の保護者のための育児不安等を解消する臨床心理士による個別相談。子育てからの不安や悩み、子どもに手が出てしまうなどの相談が増えている。

実施回数 年12回 相談延人数 30人

(9) 妊婦・新生児・乳幼児訪問指導

妊娠届出書、出生連絡票を提出し訪問を希望する方、または乳幼児健診の結果訪問を希望する方を対象に訪問指導を実施

	合 計	新生児	未熟児	妊産婦	乳児	幼児	その他
訪問延人数	1,013人	58人	48人	481人	368人	26人	32人

(10) 乳幼児健康相談

保健師、助産師、栄養士による個別相談を実施

実施回数 年8回 相談延人数 43人

(11) 未熟児養育医療

未熟児で、医師が指定養育医療機関において入院養育が必要と認めた人に対して、健康保険適用後の自己負担分と入院時食事療養費の自己負担額を助成する。

申請件数 11件

(12) 5歳児発達相談

発達には個人差があり、5歳ごろになると生活場面によって見せる行動も様々になってくることから、子育てに悩みを持つ保護者を対象に子どもの特性を理解し児に応じた子育てができるよう支援した。当該年度内に5歳になる児の保護者を対象に案内している。

実施回数 24回 相談人数 55人（延55人）

(13) 不育症治療費助成事業

不育症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、医療保険が適用されない検査及び治療費の一部の助成を行う。令和7年度より検査費については7割助成から全額助成へ、治療費については5割助成から全額助成へ助成割合を拡充した。

申請件数 2件

(14) 不妊治療ペア検査助成事業

夫婦そろって受診した不妊検査に対して医療保険適用外部分の検査費用の助成を行う。令和7年度より検査費の7割助成から全額助成へ助成割合を拡充した。

申請件数 18件

(15) 新生児聴覚検査推進助成事業

先天性の聴覚障害を早期に発見し、適切な支援につなぐことを目的に、新生児聴覚検査の必要性の周知・啓発と市民税非課税世帯を対象に受検費用の助成を行

う。令和7年10月1日より、令和7年4月1日以降にこどもが生まれた世帯に対し、初回検査の助成開始。（助成券交付および償還払）によって、令和7年度末をもって三田市民病院委託契約による非課税世帯を対象とした新生児聴覚検査推進助成事業は廃止。

- ・新生児聴覚検査推進助成事業（三田市民病院委託） 申請件数 2件
- ・新生児聴覚検査推進助成事業（令和7年10月開始） 助成件数 259件うち償還払い151件

- (16) 出産子育て応援交付金・妊婦のための支援給付交付金・妊婦等包括相談支援事業
出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用における負担軽減を図る「経済的支援（妊婦のための支援給付）」と妊娠期から面談等を通じて出産・子育ての相談に応じ様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援（妊婦等包括相談支援事業）」を一体的に実施。

申請件数 子育て応援給付金 72人
妊婦のための支援給付（1回目）441人
妊婦のための支援給付（2回目）351人
妊婦のための支援給付（2回目双胎）8人
妊婦のための支援給付（1・2回目流産）15人

妊娠後期面談による面談件数286件（訪問・来所・電話含む）

- (17) 産婦健康診査費助成事業

助成件数 実413件 延べ703件（償還払 49件）

- (18) 産後ケア事業

産後の母親に対し、休養の機会を提供するとともに心身のケアや育児のサポートを行う。市に住民票がある概ね産後1年までのお母さんと赤ちゃんを対象に、宿泊・通所・訪問による心身のケアや健康管理を行う「産後ケア」を実施。

利用実人数 105人 利用延日数 388日

（宿泊型）

利用実人数 39人 利用日数 137日

（通所型）

利用実人数 63人 利用日数 168日

（訪問型）

利用実人数 35人 利用日数 83日

- (19) 低所得の妊婦の初回産科受診費用助成

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、その妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回産科受診費用の助成を行う。

申請件数 4件（令和5年10月事業開始）

- (20) 1か月児健康診査助成

生後28日以降6週未満に受診した医療保険適用外の1か月児健康診査に要した費用の助成を行う。

助成件数 289件（うち償還払い158件）

- (21) 電話窓口相談件数（出張相談含む） 11,669件

※保健センターのチャッピーサポートセンター専門ダイヤルを令和6年度末で廃止し、従前の受付ダイヤルとの一本化を行う。それに伴い令和7年度は、妊娠・出産・子育ての総合相談窓口「本庁」「保健センター」「フラワー」「ウッディ」の4拠点の総相談件数で集計。

2 感染症予防対策の充実

定期予防接種

個別接種の状況

種 別		接 種 対 象 者	接種者数
単 独 不 活 化 ポ リ オ	1 期 初 回	生後 2 か月～90か月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	0人
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	3人
5 種 混 合	1 期 初 回	生後 2 か月～90か月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	1,307人
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	473人
4 種 混 合	1 期 初 回	生後 2 か月～90か月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	1人
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	120人
3 種 混 合	1 期 初 回	生後 2 か月～90か月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	4人(追加) ※平成28年 7月にワクチン 販売終了、 平成30年1 月から再開
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	
2 種 混 合	2 期	1 1 歳 以 上 1 3 歳 未 満 (1 回)	841人
麻 し ん 風 し ん (MR) 混 合	1 期	生後12か月～24か月に至るまでの間 (1 回)	480人
	2 期	5 歳 ～ 7 歳 未 満 で 小 学 校 就 学 前 一 年 の 間 にある者 (1 回)	692人
麻 し ん	1 期 2 期	MR 1 期 ・ 2 期 の 対 象 者 で 明 ら か に 風 し ん にかかったことがある又は混合ワクチン の代わりに単独ワクチンでの接種を保護 者が希望した者	1 期 : 0人 2 期 : 0人
風 し ん	1 期 2 期	MR 1 期 ・ 2 期 の 対 象 者 で 明 ら か に 麻 し ん にかかったことがある又は混合ワクチン の代わりに単独ワクチンでの接種を保護 者が希望した者	1 期 : 0人 2 期 : 0人
水 痘		生後12か月～36か月に至るまでの間 (3 か月以上の間隔で 2 回)	923人

日本脳炎	1 期初回	生後 6 か月～90か月に至るまでの間 (6 日～28日の間隔で 2 回)	1, 129人
	1 期追加	生後90か月に至るまでの間 (1 期初回接種後概ね 1 年において 1 回)	596人
	2 期	9 歳以上 1 3 歳未満 (1 回)	851人
B C G		生後 1 歳に至るまでの間 (1 回)	445人
ヒブワクチン	初回	生後 2 か月以上 5 歳未満 (5 歳の誕生日の前々日まで) (標準的には生後 2 月から開始し 20 日～56 日の間隔で 3 回。生後 7 月～1 歳までに開始した場合は 2 回。1 歳以降で開始した場合は 1 回)	0人
	追加	初回終了後、7 月以上 13 月までの間隔で 1 回 (ただし、1 歳以降で初回接種を行った場合は追加接種を行わない)	48人
小児用肺炎球菌ワクチン	初回	生後 2 か月以上 5 歳未満 (5 歳の誕生日の前々日まで) (標準的には生後 2 月から開始し 27 日以上の間隔をにおいて 3 回。生後 7 月～1 歳までに開始した場合は 2 回。1 歳以降で開始した場合は 1 回)	1, 307人
	追加	初回終了後、60 日以上の間隔をにおいて 1 回 (ただし、2 歳以降で初回接種を行った場合は追加接種を行わない)	497人
B 型肝炎	生後 1 歳に至るまでの間 (標準的には生後 2 か月から開始し 27 日以上の間隔で 2 回。初回接種から 140 日以上経過した後に 1 回)		1, 285人
子宮頸がん予防ワクチン ※ 1	① 中学 1 年生から高校 1 年生に相当する年齢の女子 ② キャッチアップ接種 (平成 9. 4. 2～平成 21. 4. 1 生まれ) ※ 1 サーバリックス : 1 回目から 1 か月後、6 か月後の間隔で 3 回 ※ ガーダシル、シルガード 9 : 1 回目から 2 か月後、6 か月後の間隔で 3 回		1, 264人
ロタウイルスワクチン	生後 6 週から経口接種 ※ ロタリックス : 27 日以上の間隔で 2 回、生後 24 週まで ※ ロタテック : 27 日以上の間隔で 3 回、生後 32 週まで (いずれか一方のワクチンを選択する。)		886人

※ 1 : 平成 25 年 6 月 14 日から積極的な勧奨を差し控えていたが、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたため、令和 3 年 11 月 26 日をもって接種勧奨の差し控えを廃止

3 こんにちは赤ちゃん事業

概ね生後4か月までの乳児がいるすべての家庭（新生児訪問利用者を除く）を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を設定し、子育て支援に関する情報提供を行うことにより、家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的として実施。（訪問件数50件）

4 産後等ヘルパー派遣事業

特に心身への負担が大きい産後間もない時期の家事育児を重点的に支援するため、日中に家族の支援が受けられない家庭にヘルパーを派遣する。

利用延べ回数 201回（実29世帯）

【家庭児童相談室】

5 要保護児童対策地域協議会

児童福祉法に基づき、児童虐待等の早期発見・防止をはじめ要保護児童の適切な保護を図るため、各関係機関の連携のもと総合的な要保護児童対策を推進するため平成18年4月に設置し、平成24年7月1日に国の指針に基づき対象を拡大し、名称変更したもの。（令和7年度は、代表者会1回、実務者会議6回、個別ケース検討会18回開催）

6 家庭児童相談室の相談受付状況

（令和7年4月～令和8年3月）

区 分	養護相談		保 健	障 害	非行相談		育成相談				そ の 他	合 計
	児童虐待	その他			ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し っ け 育 児 ・		
相談人数	860	262	5	132	15	10	34	25	0	18	4	1,365

7 親子関係形成支援事業

児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供等を実施するとともに、親子間における適切な関係性の構築を図る。

利用延べ人数 279人（個別91人、研修会等団体188人）

8 子育て世帯訪問支援事業

家事や育児等に対して不安や負担を抱える家庭等に対し、家事育児等の負担を軽減し家庭や養育環境を整えるため、家事育児を援助するヘルパーを派遣する。

利用延べ回数 7回（実2世帯）

【青少年育成センター】

9 青少年育成センター

(1) 非行防止事業

青少年の非行の未然防止と早期発見のため、市青少年補導員が各地域の状況に応じた街頭補導を展開し、青少年の問題行動等の発生に対して適切な指導や注意を行い、速やかな措置を講じるため、警察・学校・PTA等関係機関・団体と連携を密にしながら、非行防止のネットワークづくりを行っている。

ア 補導活動状況（平成7年4月～令和8年3月）

補導活動総回数			活動延人員		
664回			2,581人		
活動種別	登下校指導	登校のみ	60回	133人	（その他の内容） 補導活動に関する 連絡協議会等への参加
		下校のみ	36回	87人	
		登下校	0回	0人	
	街頭補導	一般補導	530回	2,169人	
		深夜補導	2回	11人	
	環境浄化活動		0回	0人	
	たまり場・危険箇所点検		18回	60人	
	その他		18回	121人	

イ 青少年補導員の構成（定数：250名以下）（令和8年3月31日現在）

（ア）一般補導員 160名

（イ）各小・中・高等学校生徒指導担当教諭等 38名

ウ 青少年補導委員会の組織

会長1名・副会長4名・理事（ブロック長）9名・班長27名

(2) 有害環境浄化事業

青少年の健全育成を阻害するおそれのある社会環境を浄化することを目的として、学校、地域、関係機関団体の協力を得て、青少年のたまり場の巡回、有害図書類販売店等に対する適正な販売等の協力要請、指導などの活動を展開した。

ア 環境浄化パトロール

イ 有害図書等の販売店等の実態調査

ウ 「白ポスト」による有害図書・雑誌・DVD等の回収、処分

(3) 青少年相談事業

青少年が日頃いだいている、友だち関係・学校生活・家庭家族・進路・性の問題などの悩みについて、本人や家族などから電話、面接による相談を受け、必要な場合には学校や関係機関と連絡をとりながら、悩みが深刻化するのを防ぐとともに、その解決のアドバイスをしている。

◇相談日及び時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00（年末年始・祝日を除く）

ア 青少年相談受理状況（令和7年4月～令和8年3月）（単位：件）

相談対象者	幼 児	小学生	中学生	高校生	その他	合 計	備 考
合 計	0	62	70	25	12	169	面接74 電話90 メール5

(4) 子どもの安全対策事業

登下校等の児童生徒の安全を確保するため、「こども110番の家」の登録推進とともに、地域の防犯意識を高めるため啓発などを行う。

ア 「さんだっこ110番のくるま」	公用車	95台
イ 「こども110番の家」のプレート等掲示	登 録	770件

(5) 不登校・ひきこもりへの支援

ア 不登校保護者支援の会（SUNだっこカフェ）

(ア) 第1回SUNだっこカフェ（令和7年8月23日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：3名

(イ) 第2回SUNだっこカフェ（令和7年11月1日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：0名のため中止

(ウ) 第3回SUNだっこカフェ（令和8年2月28日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：7名

イ 三田市近郊不登校支援情報共有の会「ここもあるよ」

近年増加している不登校について、行政（教育委員会を含む）と民間の団体及び高等学校や専門学校等が協働することにより、三田市近郊の一人ひとりに合った居場所や学びの場を見つけられるよう支援するとともに、情報共有の会を開催し、学校関係者へもその情報を共有することで、相互理解を深め連携の強化につなげる。

(ア) 開催日 令和7年10月18日

(イ) 参加団体 39団体

(ウ) 来場者数 59名

(6) フリースクール補助事業

不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保に繋げるため、民間施設で活動する不登校児童生徒を持つ家庭の経済的負担軽減を図っている市町組合を支援する「フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への支援事業（以下「本事業」という。）」を実施する。

補助件数 24件

こども育成課

1 こども育成課

(1) 放課後児童クラブ入所児童数（令和8年3月現在）

（単位：人）

児童クラブ名	入所児童数	児童クラブ名	入所児童数
三輪児童クラブ	30	三田第4児童クラブ	39
三輪第2児童クラブ	30	富士児童クラブ	15
三輪第3児童クラブ	21	富士第2児童クラブ	26
狭間児童クラブ	30	けやき台児童クラブ	33
あかしあ台児童クラブ	38	けやき台第2児童クラブ	25
あかしあ台第2児童クラブ	39	けやき台第3児童クラブ	23
弥生児童クラブ	20	ゆりのき台児童クラブ	28
つつじが丘児童クラブ	35	ゆりのき台第2児童クラブ	38
武庫児童クラブ	29	ゆりのき台第3児童クラブ	40
武庫第2児童クラブ	29	ゆりのき台第4児童クラブ	40
武庫第3児童クラブ	31	広野児童クラブ	33
すずかけ台児童クラブ	28	広野第2児童クラブ	32
すずかけ台第2児童クラブ	32	松が丘児童クラブ	32
すずかけ台第3児童クラブ	32	学園児童クラブ	32
三田児童クラブ	40	高平児童クラブ	17
三田第2児童クラブ	33		
三田第3児童クラブ	29		
合 計		979	

(2) 放課後こども教室推進事業

小学校区を単位として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、こどもたちと共に勉強やスポーツ・体験活動を手段としてこどもと大人が「集う」「交流する」活動を推進することを目的として実施。

ア 実施校区数 14小学校区

イ 実施日数 1,432日

ウ 参加児童数 19,643人

(3) こうみん未来塾の開催

科学技術に親しみを覚える子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成のため、地域や教育機関・民間企業との協働により実施。科学実験や自然体験などを中心とした、本物に触れる機会を提供できるプログラムを市が用意し、地域とともに実施。

ア こうみん未来塾＜地域が主役コース＞ 実施回数39回 参加者数 972人

イ こうみん未来塾＜地域でお試しコース＞ 実施回数28回 参加者数 1,029人

ウ 全市版こうみん未来塾＜みんなで体験コース＞ 実施回数27回 参加者数 1,084人
 エ こうみん未来塾＜学校向けプログラム＞ 実施回数14回 参加者数 858人
 オ 全市版＜サイエンスフェスティバル＞ 実施回数 1回 参加者数 2,289人

(4) 学校支援ボランティア事業

保護者及び地域の方々にボランティアとして小中学校を支援する活動を推進し、学校の教育活動に地域の教育力を活かすとともに、学校及び地域の活性化を図ることを目的として実施。

＜活動概要＞

ア 学校とボランティアの間を調整するコーディネーターを配置し、学校・ボランティア両者の希望にかなうコーディネートを行う。

イ 市内29校が当事業のボランティアを活用。

ウ 計4,424日（年間延べ日数）のボランティア活動を行う。参加ボランティアは、延べ30,133人。

(5) 家庭教育充実事業

家庭教育学級	市内各小学校単位に学級を開設し、各小学校PTAが主体となり学校教育と連携を取りながら、保護者たちが話し合い共に学ぶ機会とする。			
家庭教育学級 合同運営委員会	5月9日(金)	25名	① 運営委員への趣旨説明 ② 補助金説明 ③ 質疑応答	各校運営委員のみ対象
	9月21日(日)	96名	【子育てエッセンス共催】 「そこそこ幸せな子育てのために」 講師：児童精神科医/ 兵庫県中央こども家庭センター 木下 直俊 氏	全市内の保護者対象
	2月4日(水)	15名	① 今年度の活動報告と来年度の方向性 ② 補助金の報告書提出について ③ 自分で自分をトトノエル ～家族とセルフケア～ 講師：ピロトレスタジオMili 谷 千亜紀さん	各校運営委員のみ対象

保 育 振 興 課

1 保育施設の入所児童数（令和8年3月31日現在）

(1) 認可保育所（10施設）

【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
三田市立 三田保育所	天神2丁目3番 3号	120	8 (1)	15	16 (1)	21 (2)	21	24	105 (4)
三田こばと 保育園	屋敷町7番25 号	60	3	12	12	12	14	13 (2)	66 (2)
光の子保育園	あかしあ台5 丁目30番地1	120	11	15	19	21	18	24	108
あいの保育園	下相野1904番 地	90	8 (1)	13	16 (1)	20	21 (1)	21	99 (3)
あさひ若草 ナースリー	あかしあ台4 丁目14番地4	45	9	16 (2)	18				43 (2)
キッズポート 保育園	すずかけ台2 丁目16番地	70	10	12	11 (1)	15	13 (1)	14	75 (2)
よこやま 保育園	南が丘2丁目 9番5号	70	7	11	10 (1)	14 (1)	16	17	75 (2)
さんだのもり 保育園	高次1丁目1番 4号	60	6	10	11	14	12 (1)	14	67 (1)
三田 虹の子 保育園	駅前町3番15 号102	90	13	15	15	17	17	18	95
ほしのさと 保育園	ゆりのき台 2丁目3番1	120	9	14 (2)	21	25	25	25	119 (2)
合 計		845	84 (2)	133 (4)	149 (4)	159 (3)	157 (3)	170 (2)	852 (18)

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

(2) 小規模保育施設（6施設）

【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
こぐまプリスクール三田園	駅前町11番1号 11号三田1階	19	2	8	5				15
やよいキッズ	駅前町1番38号 三田NKビル5階	19	1 (1)	8	7				16 (1)
ミルクたんぽぽ園	西山1丁目13番 6号	19	3	7 (1)	8				18 (1)
ぽるとこども園	すずかけ台2丁 目3番地1	19	5	6	8				19

けやきキッズ ガーデン	あかしあ台5丁 目32番地1	19	2	9	10				21
コスモチャルト [®] 保育 園 三田園	すずかけ台2丁 目3番地1	19	5 (1)	0	5				10 (1)
合 計		114	18 (2)	38 (1)	43				99 (3)

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

(3) 認定こども園（保育認定児童のみ）（幼稚園型11施設、幼保連携型3施設） 【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
三田市立 みつば幼稚園	上井沢310	15				5	5	6	16
三田市立 ありまふじ幼 稚園	志手原881	15				9	3	0	12
北摂第一 幼稚園	武庫が丘4丁 目10番地	110		11 (1)	12	31	25 (3)	25 (2)	104 (6)
北摂中央 幼稚園	すずかけ台2 丁目16番地	80				24	32 (3)	34	90 (3)
ふじ幼稚園	富士が丘2丁 目16番地	73		5	10 (1)	15 (5)	15 (2)	18 (1)	63 (9)
三田あさひ 幼稚園	あかしあ台4 丁目21番地	40		5 (1)	3	7	7	13 (1)	35 (2)
三田さち 幼稚園	狭間が丘4丁 目5番地	60		4	10 (1)	9 (2)	12 (1)	12 (3)	47 (7)
三田つつじが丘 認定こども園	つつじが丘北 2丁目26番地	87	4 (2)	6	8	10 (3)	17	17 (1)	62 (6)
三田けやき台 認定こども園	けやき台3丁 目64番地, 74 番地	140	12	23 (1)	23 (1)	34	35 (1)	34	161 (3)
北摂学園 幼稚園	学園7丁目1番 地3	45				18	12	23	53
やよい幼稚園	弥生が丘5丁 目13番地	50			6 (2)	14 (2)	12 (1)	17	49 (5)
ゆうかりフレ ンズ	狭間が丘2丁 目20番地	120	17	17 (1)	20 (1)	18 (2)	22	19 (1)	113 (5)
若草幼稚舎	けやき台5丁 目24番地	120	14 (1)	24	24	28	22	20	132 (1)
親和幼稚園	ゆりのき台5 丁目43	65		8 (1)	12 (1)	11 (3)	10	15	56 (5)

合 計	1020	47 (3)	103 (5)	128 (7)	233 (17)	229 (11)	253 (9)	993 (52)
-----	------	-----------	------------	------------	-------------	-------------	------------	-------------

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

2 待機児童対策（各年度4月1日時点）

(1) 待機児童数

【人】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和2年度	1	34	14	3	4	1	57
令和3年度	0	12	16	7	2	2	39
令和4年度	0	3	2	0	1	0	6
令和5年度	0	2	0	0	0	0	2
令和6年度	0	0	2	0	0	0	2
令和7年度	0	1	0	0	0	0	1
令和8年度	0	0	0	0	0	0	0

(2) 利用定員拡充の状況（令和8年4月1日時点）

		3号認定			2号認定			合計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
H27	認定こども園(8施設)	18	37	75	102	110	115	457
H28	小規模保育施設(3施設)	9	22	26				57
	さんだのもり保育園(11月)	6	9	10	11	12	12	60
H29	三田 虹の子保育園	12	12	15	17	17	17	90
	小規模保育施設(2施設)	6	14	18				38
	ふじ幼稚園(認定こども園)		13	15	15	15	15	73
H30	北摂第一幼稚園(認定こども園)		6	2				8
R1	コスモチャイルド保育園三田園	2	8	9				19
R2	親和幼稚園(認定こども園)			12	15	15	15	57
R4	ほしのさと保育園	9	18	18	25	25	25	120
	北摂中央幼稚園(利用定員の拡充)				5	10	5	20
	北摂学園幼稚園(利用定員の拡充)				5	5	5	15
R5	北摂第一幼稚園(利用定員の拡充)				5	12	3	20
R7	三田あさひ幼稚園(利用定員の拡充)		6	6	3			15
	親和幼稚園(利用定員の拡充)		8					8
R8	北摂第一幼稚園(利用定員の拡充)				10			10
	北摂中央幼稚園(利用定員の拡充)			5	15			20
	北摂学園幼稚園(利用定員の拡充)		5	5	10			20
	ありまふじ幼稚園(利用定員の拡充)				10			10
合 計		62	158	216	681			1,117

(3) その他の対策

- ・平成29年10月送迎保育支援事業を開始（令和9年度廃止予定）
（利用者数）5歳児2人 合計2人 （令和8年4月1日現在）
- ・認可外施設の活用 2施設
（みどり保育園、YSE International School）
- ・企業主導型保育事業所の活用 3施設
（ミルクひまわり園、KID ACADEMY NURSERY三田園、モーモーランドウッディタウン園）

3 一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化、急病や育児疲れ解消などのため、一時的に保育が必要となる就学前児童を保育園・認定こども園で一時的に預かります。（満1歳以上の児童が対象）

実施園4施設（あいの保育園、さんだのもり保育園、三田けやき台認定こども園、ほしのさと保育園）

（令和8年3月31日）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	利用延件数
0	917	1,515	299	33	3	2,767

4 病児・病後児保育事業

病気やけがの治療中または回復期などに、家庭や集団での保育が困難なお子さんを一時的にお預かりする事業です。

（令和5年3月、市直営の病児保育施設「ふらっと・クローバー」を開設）

（令和8年3月31日）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	小学生	年間 利用件数
2	19	15	28	5	8	17	94

幼児教育振興課

1 市立幼稚園・認定こども園の執行状況（但し人件費を含み施設工事営繕を除く）

区 分	決 算 額（千円）		摘 要
幼稚園・ 認定こども園 5園	352,288	47,435	幼稚園管理費（消耗品、光熱水費等、教材備品等）
		304,853	人件費（賃金、共済費等）

2 市立幼稚園・認定こども園教職員に関すること

(1) 職員数(令和8年3月31日現在) (単位：人)

区 分	正規職員	会計年度任用職員	合 計
幼稚園・認定こども園	25	33	58

3 市立幼稚園・認定こども園施設等の概要

(1) 敷地及び園舎の面積(令和8年3月31日現在) (単位：㎡)

幼稚園名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
三 田 幼 稚 園	4,584	1,019		1,019
三 輪 幼 稚 園	3,579	1,081		1,081
松 が 丘 幼 稚 園	4,709	807		807
み つ ば 幼 稚 園	4,972	725		725
ありまふじ幼稚園	2,469	1,200		1,200
合 計	20,313	4,832		4,832

4 市立幼稚園・認定こども園教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

○研修等

研修・講座名	年間実施回数	参加者数 (延人数)
市内幼稚園連携推進事業合同研修会	2回	138人

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

○市特別指定研究園・・・1園

「遊び大好き！友達大好きをめざして」 ～幼児の育ちを支える教師の援助のあり方を探る～	みつば幼稚園
---	--------

(3) 研修事業

幼稚園研修、保育実践研究集作成

5 市立幼稚園・認定こども園教育内容に関すること

(1) 幼稚園元気アップ共育事業

- ・・・各園が教育目標の実現をめざすため、地域人材や外部人材を活用した栽培活動などの体験活動の充実やオープンスクール等を通じて園の取り組みを発信することで、活力にあふれた地域に信頼される園づくりを推進する。

(2) 学校評議員制度

- ・・・開かれた園づくりと園の自主的・自律的な教育活動を推進するため、各園に15名以内の学校評議員を置く。

6 市立幼稚園・認定こども園園児数(令和8年3月31日現在) (単位：人)

園名	学級数	園児数			計
		3歳	4歳	5歳	
三田幼稚園	3	15	18	14	47
三輪幼稚園	3	9	10	15	34
松が丘幼稚園	2	4	7	8	19
みつば幼稚園	3	15	23	16	54
ありまふじ幼稚園	3	17	6	5	28
合計	14	60	64	58	182